

保護者様

京都市立明德小学校

校長 西川 聖子

平成27年度 後期学校評価アンケート結果報告

春色にわかに満ちてまいりました。保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は本校教育推進のため、何かとご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

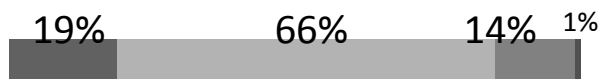
さて、後期の学校評価アンケートの結果をまとめましたので、ご報告させていただきます。「実現度が低い」ところを課題ととらえ、来年度の教育活動に生かしていきたいと考えています。また、自由記述欄に記入していただいた保護者・地域の皆様方の貴重なご意見、ご感想を真摯に受け止め、よりよい明德小学校にしていきたいと考えています。アンケートにご協力をいただき誠にありがとうございました。

保護者アンケートより

◆豊かな心・健やかな体

■よく出来 出来ている ■大体出来 出来ている ■あまり 出来て… ■出来て いない

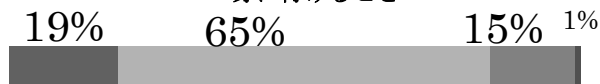
①子どもが授業の中で自ら思考・判断し、表現すること



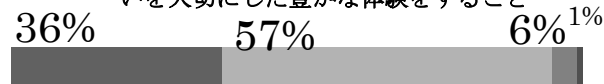
②子どもが、音読・漢字・計算などの基礎的な学力を身に付けること



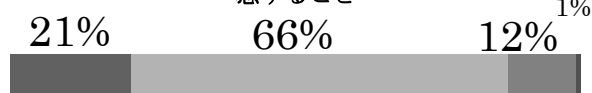
③子どもが言語活動を通して、伝え合う力を身に付けること



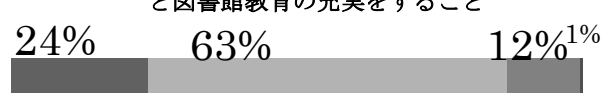
④子どもが伝統文化・芸術・自然などの出会いを大切にしながら豊かな体験をすること



⑤子どもが、授業でわかる喜びと楽しさを実感すること

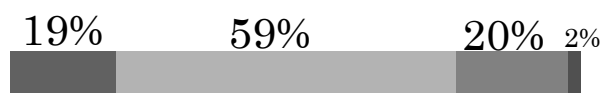


⑥学校が、関連読書、朝読書、読み聞かせなど図書館教育の充実をすること

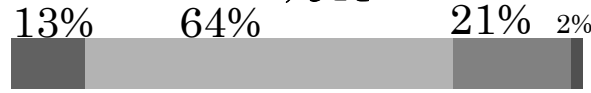


◆豊かな心・健やかな体

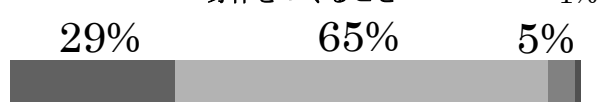
⑦子どもが、進んであいさつをすること



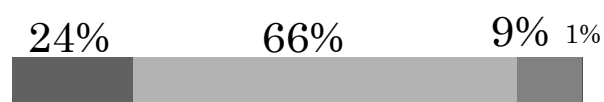
⑧子どもが、くり返し最後までやりぬこうとすること

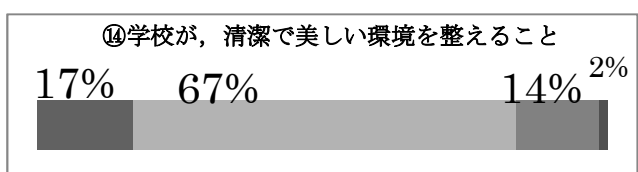
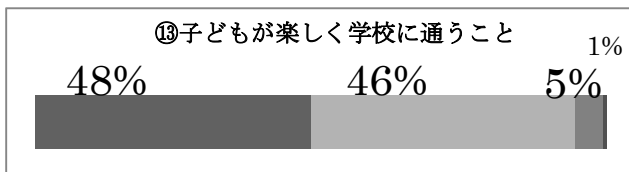
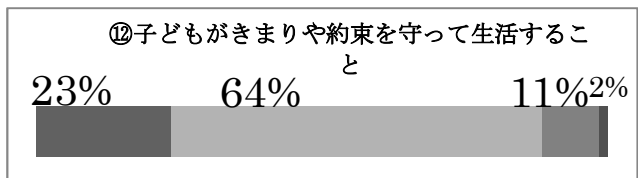
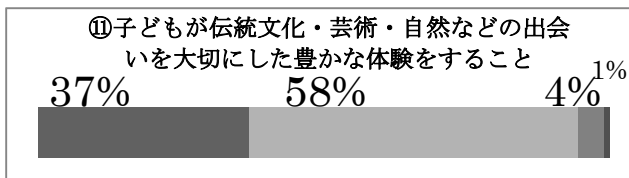


⑨子どもが命を大切に、健康で体力のある身体をつくること

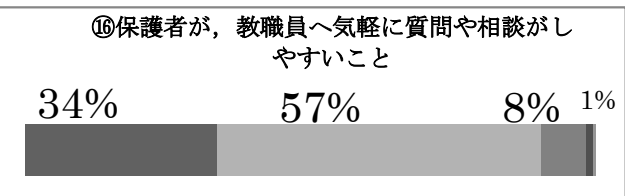
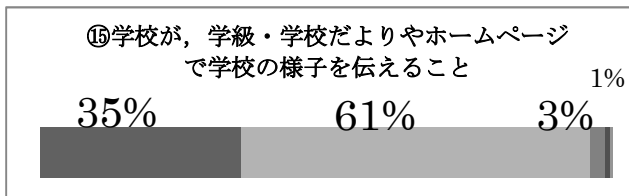


⑩学校が人権を尊重する心を育てるなど道徳教育を大切に教育活動に取り組むこと





◆学校・保護者・地域の連携

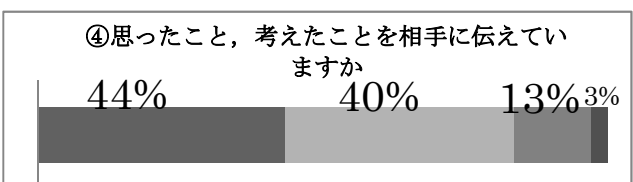
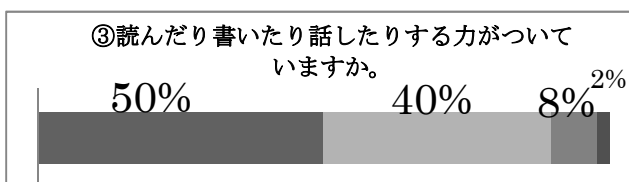
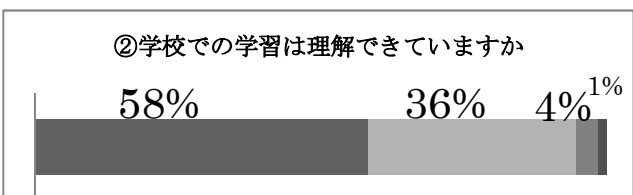
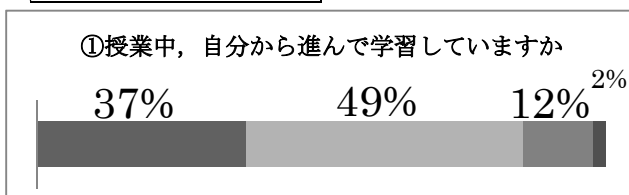


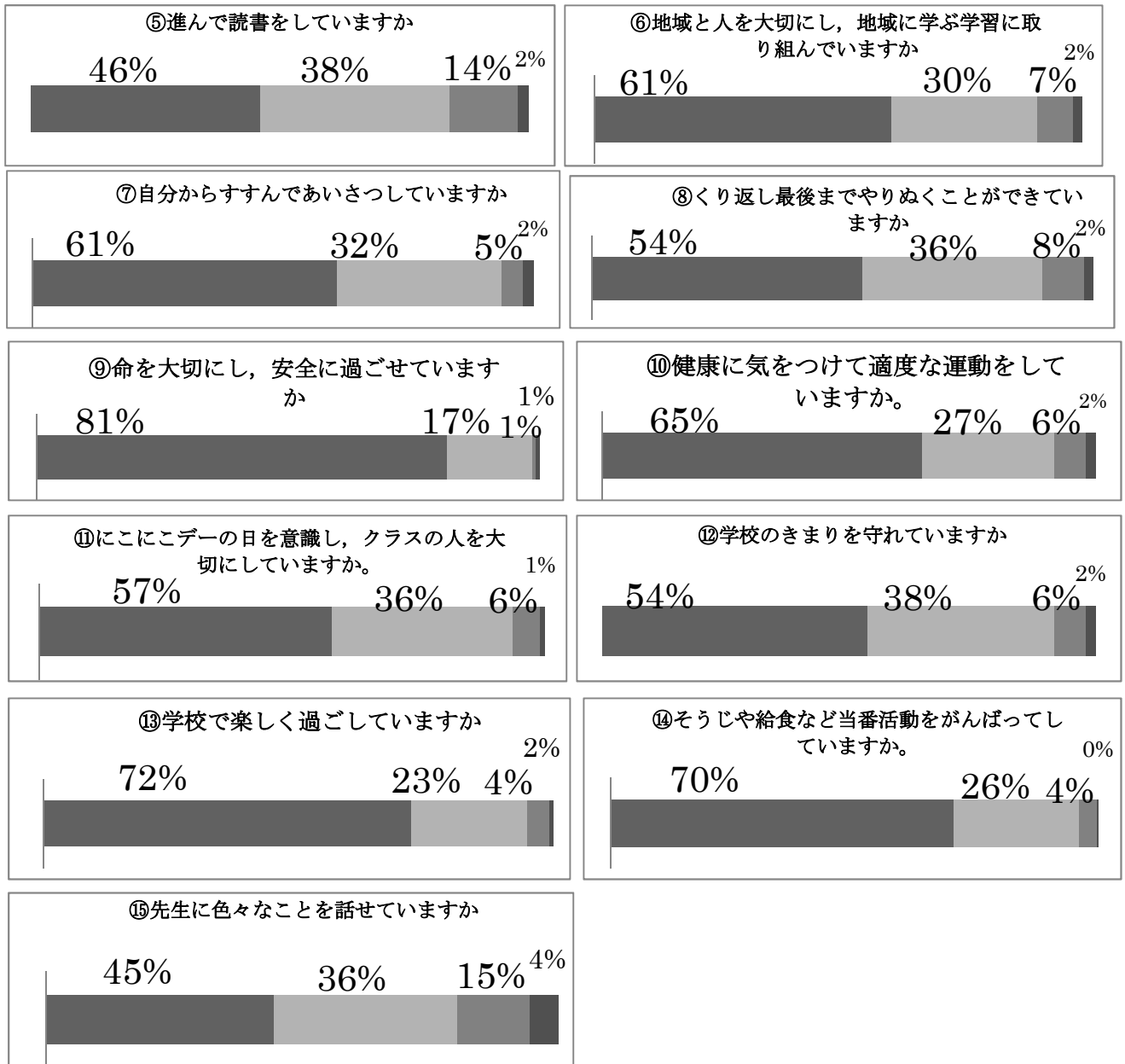
【分析】 85%以上の方が、実現できていると思われる項目は、前期は、②④⑥⑨⑩⑪⑫⑬⑮⑯の9項目でした。後期はこの9項目に加えて、つぎの2項目が増えました。①「子どもが、授業の中で、自ら思考・判断し、表現すること」⑤「子どもが、授業でわかる喜びと学ぶ楽しさを実感すること」です。いずれも授業に関する項目で、参観日での子どもの様子や家庭での学習の様子などで保護者の方が感じられていると思います。担任の授業改善も含めて成果があった点だと考えます。

またその他に、前期より実現度がアップしている項目は、③「子どもが、言語活動（読んだり、書いたり、話したりする活動）を通して、伝え合う力を身に付けること」 81%→84% ④「子どもが、伝統と文化を受け継ぎ、地域と共に豊かな体験を通じた学習をすること」 85%→93% ⑦「子どもが、進んであいさつをすること」 74%→78% ⑭「学校が、清潔で美しい学校環境を整えること」 81%→84%です。特に、④については、本校が重点的に取り組んでいる項目ですので、実現度が大きくアップしていることはうれしいことです。

反対に、前期より実現度が低くなっている項目は、⑥「学校が、関連読書・朝読書・読み聞かせなど図書館教育を充実させること」 89%→87% ⑫「子どもが、きまりや約束を守って生活すること」 89%→87%です。特に、⑫について、子どもたちに規範意識をしっかりと身に付けてほしいので、今後も学校で継続的に取り組んでいくとともに、ご家庭でも「ルールを守る」という意識を持って子どもたちに関わっていただけるとありがたいです。また、前期より実現度がアップしているものの、⑦「子どもが、進んであいさつをすること」は78%と低く課題が見られます。⑧「子どもが、くり返し最後までやり抜こうとすること」も77%と低く、今後も「やりきらせる指導」を継続していきます。

児童アンケートより



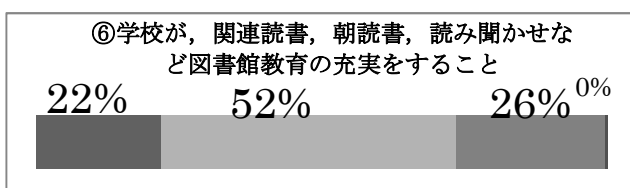
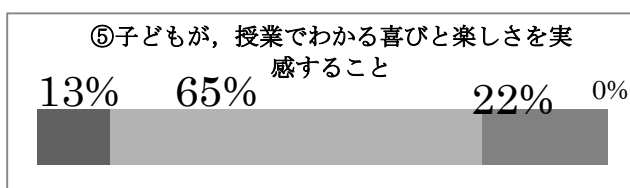
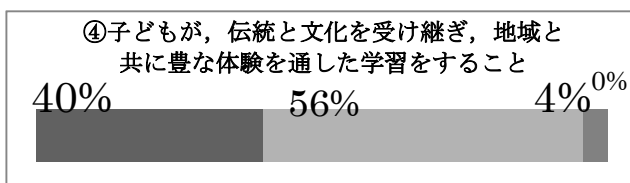
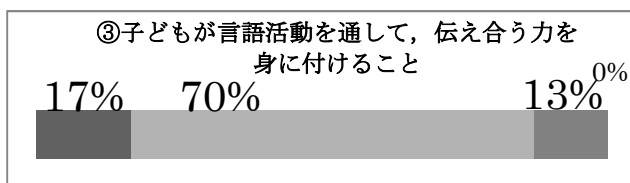
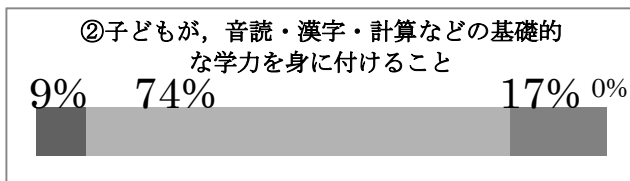
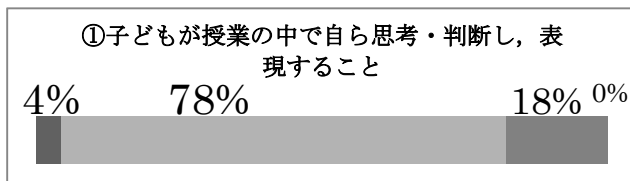


【分析】すべての項目で、80%以上の児童ができていますと答えています。一番実現度が高かったのが、⑨「命を大切にし、安全に過ごせていますか」の項目です。前期よりもさらに2%増え、98%の実現度です。しかし、まだ、廊下を走ったり、雨の日に校舎内で遊んだりしている児童も多く、不注意やふざけた行動からのけがも起こっているため、やや実態とのずれがあります。前期に比べてアップした項目は⑬「学校で楽しく過ごしていますか」92%→95%です。すべての子どもたちに楽しい学校生活を送ってほしいと思います。100%に近づくようにこれからも取り組んでいきたいと思っています。

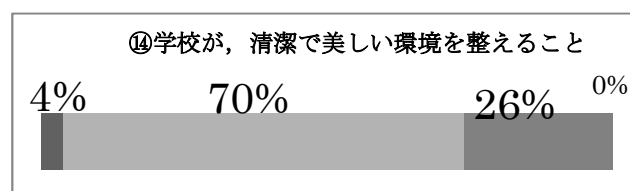
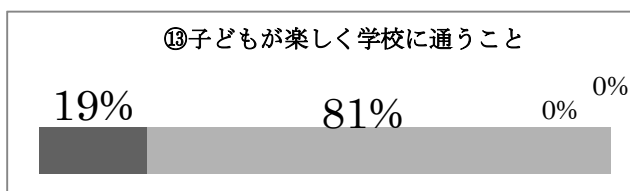
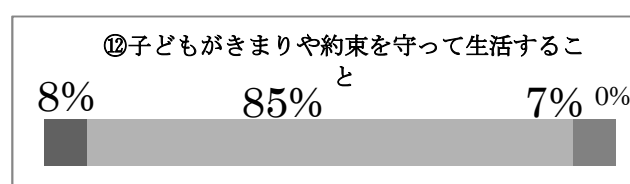
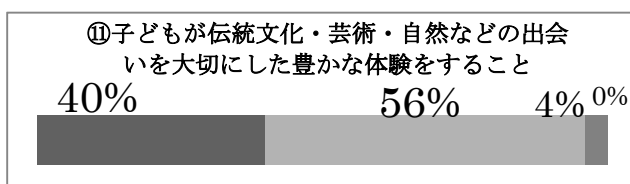
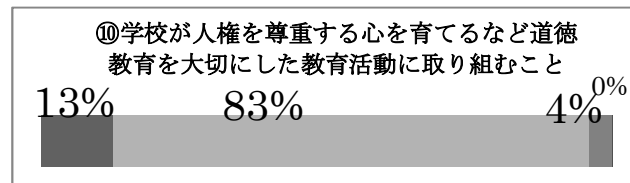
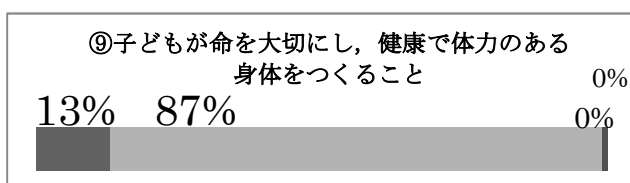
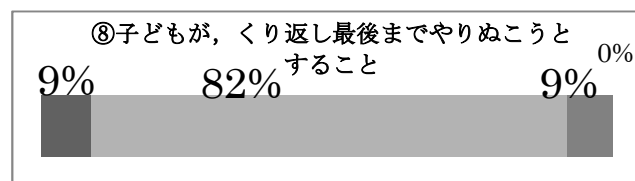
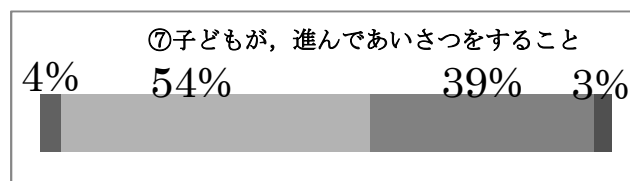
実現度が低かったのが、⑮「先生に色々なことを話せていますか」の項目です。80%→81%と微増はしていますが、2割の子どもが、気軽に話せていない現状を真摯に受け止め、子どもたちと信頼関係を築いていきます。

教職員アンケートより

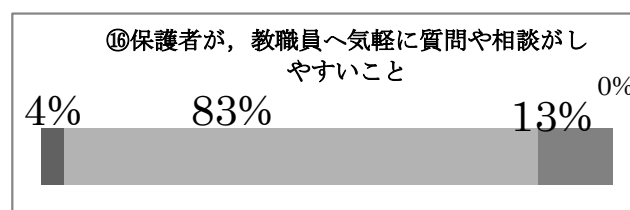
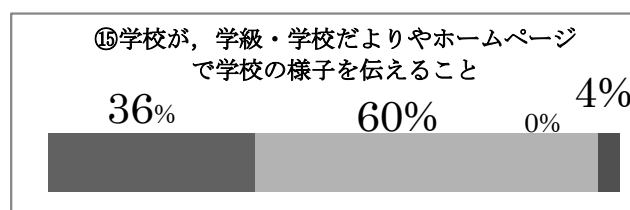
◆確かな学力



◆豊かな心・健やかな体



◆学校・保護者・地域の連携



【分析】実現度が高かったのが、④⑧⑨⑩⑪⑬⑮の7項目です。④「子どもが、伝統文化を受け継ぎ、地域と共に豊かな体験を通した学習をすること」については、本校の重点項目でもあり、田んぼや畑、わきの山などの活動を通して、学習を積み重ねてきたことがこの結果につながったと考えます。⑨「子どもが、命を大切にし、健康で体力のある体をつくること」については、道徳の授業や日常の関わりの中で自分も友だちも大切にしている指導が続けています。⑬「子どもが楽しく学校に通うこと」については、児童のアンケート結果でも触れましたが、とても大事な観点なので、実現度が高かったことは指導者側も意識をして取り組んでいることがうかがえます。

反対に実現度が低かったのが、⑥⑦⑭の3項目です。特に、⑦「子どもが、進んであいさつをすること」63%→58%については、かなり低い数値であり、保護者や児童の意識と差が見られます。教職員は子どもたちと接する時間が長く、指導者という立場から厳しくとらえがちですが、残念な結果です。ご家庭でも習慣の一つとして、声掛けしていただけるとありがたいです。

地域アンケートより

＊記述で回答していただいております。一部ですが紹介させていただきます。

○机上の空論の学習ではなく、体験して、汗をかき体で覚えて身に付ける。知識としては簡単ですが、実践は難しい。生きた人材の育成に取り組んでくださっているお姿を目の当たりにし感謝しています。

○ホームページは、いつ見ても充実していて感心しています。

○畑やプランターを季節に応じて活用するのは指導が大変だと思いますが、貴重な体験だと思います。

○あいさつについては、こちらからすると、しっかり返してくれます。

○子どもたちは、元気よく子どもらしく、また伝統文化教育についても、発表などを見せてもらいいい方向に進んでいると思いました。

○子どもたちと話をしても、国語力が上がっていると思います。文章力はどうなのでしょう。基礎的な学力もあると思います。

○子どもたちは素直であいさつの良くできる良い子たちです。

○現代の学校では勉強と集団生活でのルールの大切さ以外に、これまで各家庭においてなされてきたことまでも、課せられているので大変だと思います。

○毎日家の前を多くの子どもたちが登校します。私もできる限り、子どもたちの顔を見るようにはしております。挨拶も自然に言える子どもが多いです。

○これからの時代に求められる力とは？変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたちは「生きる力」「確かな学力」を育むことが必要です。

○子どもたちの育ちは、親や学校だけでは十分とは言えず、地域の自然や文化そして人々の眼差しの温かさの中でこそ、自分の育った故郷への愛着とゆるぎない安心感が育成させると思います。

○学校行事が大変多いように感じますが、先生方の取組の準備が大変ですが、頑張ってください。

●児童に対して先生はやさしすぎるように思う。もう少し毅然とした態度を取ってほしい。

●教職員間の朝のあいさつはできているのでしょうか。児童は見ています。

●相変わらず、登校時に親の送迎車両の進入違反が見られる。同一の人が多い。注意しても無視されることが多い。残念です。

総括

◎確かな学力

前期と比べ、「子どもが、授業の中で、自ら思考・判断し、表現すること」「子どもが、音読・漢字・計算など基礎的な学力を身に付けること」について、保護者、児童とも実現度がアップしている点からも、本校の子どもたちにつけたい力（伝える力・表現する力）が着実に身に付いていると考えます。日頃から、「ねらい」を明確にした授業展開を重点に取組を進めています。そのため授業の中で自分の考えを伝える場面を意図的に多く取り入れています。今後も「音読・漢字・計算などの基礎的な学力を身に付けること」については、毎日の授業の充実、算数タイムや国語タイの活用、「明德ことばんく」と名付けている個人ファイル（これまでに国語などで学習した語彙や用語、話し合い等の進め方のカードを入れている）の活用に、引き続き取り組んでいきます。

◎豊かな心・健やかな体

今年度も「明德小学校いじめ防止基本方針」に見直しと共通理解（見逃しのない観察、手遅れのない対応、心の通った指導）を進めてきました。学校だよりでもお知らせしている通り、本校は毎月25日またはその前後の日に「にこにこデー」を設定しています。その日には、人間関係を築くことをねらいとして、道徳教育、人権教育の充実を図ってきました。また今年度は、休日参観や自由参観等での道徳の授業公開を通して、本校の道徳教育推進の様子をご覧いただきました。

今年度も感性と情操を育む体験活動の充実を図るために、いくつかの取組を実施しました。北稜高校の吹奏楽部に来ていただき生演奏を聴いたり、琴・尺八・琵琶などの体験教室を行い、邦楽入門コンサートを実施したりしました。

安全面におきましては、全児童に防犯ブザーを携帯させて、自分の身を守るための指導を徹底してきました。また、シェイクアウト訓練を含め年間10回の避難訓練を実施し、3年生の「非行防止教室」6年生の「救急救命学習」「ケータイ教室」「薬物乱用防止教室」も実施しています。

今後も、今年度の反省を踏まえて「一人一人の子どもを徹底的に大切にする」という京都市の理念のもと、あらゆる教育活動の中で支え合い高め合う集団づくりを行っていきます。

◎学校・保護者・地域の連携

生活科や総合的な学習の時間に、地域のCT（コミュニティーティチャー）に様々なことを教えていただいています。ご支援・ご協力を有難く思っております。お陰様で、登校時の見守り活動も充実してきました。

「学校の様子を伝えること」については、記述の中でも、ホームページの充実について評価いただいています。また、学校運営協議会を中心に地域の方々と連携を深めていっております。今後も、学級・学年だよりにより写真や、児童の作文、感想などを盛り込んだり、保護者の方と一緒に子どもたちと関わる活動を工夫したりした取組を続けていきたいと思っております。

◎保護者アンケートの自由記述欄についてのまとめ

***自由記述欄にも多くのご意見をいただきました。一部ですがご紹介します。**

○たてわり活動、ロング昼休みは「なんだろう？いやだなあ」という感じでしたが、「たのしかった！」と言っていました。6年生の発案だと聞きました。継続していただきたいです。

○普段は触れることのないお琴や尺八のコンサートなどの演奏会もめずらしかったようで少し興味を示していました。

○自由参観の時、一人一人の子どもたちが落ち着いて授業に取り組む姿にこの1年の成長を感じました。仲間を思いやる気持ちや互いの良さを認め合う姿も見られました。本当にすごいなあと思いました。一人一人の子どもたちを大切にした教育活動をしてくださって本当にありがとうございます。

***本校の伝統文化教育の取組についても多くのお声をいただきました。**

○京野菜を通していろいろなことを学び、育てたり、調理して食べたりと、地域に根差した良い経験をさせていただきました。今まで以上に料理にも興味がわきました。

○地元の方との関わりによる貴重な体験をさせていただき、大変ありがたいです。子どもだけでは難しそうなしめ縄も立派にできていました。

○野菜作りにおいて、手をかけると自然は応えてくれるという喜びを感じていたようです。立派に育った夏野菜を得意気に持ち帰ってくれました。

○自分で育てた野菜はやはり大切に食べようとしていましたので、食べ物大切さがわかり、よいと思いました。

○いろいろな学年で地域の方々がわざわざ学校に来て、子どもたちに様々なことを教えていただき、ありがたいことだと思います。しかし、そのことを知らない親が多いのではないかと感じます。学校にはほんとに多くの地域の方が学校に出入りされています。せっかくなので、いろいろな場で、お名前や団体名などを保護者に伝えていただければと思います。学習発表会の「明德農園」はいい機会にされていたなあと思いました。

○明德農園で農家の方に作物の育て方を教えていただくことは、非常に有意義なことだと深く感謝しております。子どもの成長につれて感じ方も変わって行くと思いますので、毎年続けていってほしい願っています。

○体験授業が多く、教科書にはない情報、知識を学ぶことができていると思います。また、仲間と協力して意見をまとめる積極性も養われていると思います。明德農園で地域の先生にご指導をいただくのも、よい緊張感のもと学習するよい経験になっています。

***今後の課題となるご意見もいただきました。**

●教職員の言葉遣いについてのご意見がありました。「子どもの呼び方や、叱り方など教育公務員としてふさわしくない言動があった。」とのご指摘でした。その時の状況や子どもの実態もあったかもしれませんが、『大人は子どもの手本』であることを肝に銘じ、ご意見を真摯に受け止め改善に努めていきたいと思っています。

●「校舎内が滑りやすい。」「床が汚い。」というご意見がありました。校舎は本来二足製の造りになっていないため、確かにスリッパでは階段等、滑りやすいところがあります。保護者の方がご来校の際は、上靴をご持参いただきますとよいと思います。引き続き、清掃も徹底できるように取り組みます。掃除の時間に、子どもが雑巾で廊下を拭いている様子にか感心したというお声もいただきました。

●「子どもが選んで借りてくる本は、いつも同じジャンルの本だったり、写真を楽しむものが多かったり、傷んでいたりしているが、よい文章に出会い、心を動かす本を借りてほしい。」というお声がありました。学級で図書室に行き、読書指導をする際に、本の選び方についても個々に対応していくよう

にしたいと思います。また、週に 1 回、図書館運営支援員が来校しておりますので、休み時間でも助言できるかと思います。図書館ボランティアの方には、傷んだ本の修理や廃棄もしていただいております。感謝しております。

- 明德農園の一部が更地になり、売りに出ている件についてお声がありました。**明德農園は、地域の農家のご好意でお借りしている土地で、子どもたちの学習のために、貴重な場所を提供していただいております。学習活動をするにはまだ十分な広さがありますので、今後もお借りしたいと考えています。
- 「明德農園の学習にとっても力が入っているのはよく分かるが、脇の山の活動についてアピールが弱く、どのような活動をしているかが見えにくく、もったいない。」**「3 年生で一生懸命整備した脇の山に卒業まで行く機会がない。」というお声がありました。確かに、昨年度、今年度の 2 年間は、国の指定を受け、食育を通した伝統文化教育を推進しておりましたので、農園活用については充実していたと思います。明德小学校が管理している脇の山活用についても、来年度は計画を練り直したいと思います。
- 『めいとかく学習』が多過ぎる。基礎学力がつくようにしてもらいたい。**というご意見がありました。「めいとかく学習」は総合的な学習の時間のことで、各学年毎に年間実施時数が文部科学省で決められています。各教科等の実施時数も同様で、決められた時数を確保することになっています。したがって、多くの学習時間を実施しているわけではありません。しかし、1 時間 1 時間の授業を大切にし、学習のめあてをしっかりとめ、確かな学力を付けていかなければなりません。今後も基礎学力の定着には力を入れて取り組みたいと思います。
- 「学習発表会は、保護者席が混み合い、児童の後ろで見えづらい。」**というお声がありました。人数の関係で難しいですが、発表している学年の保護者に優先的に入っていただき、終われば、次の学年の保護者と入れ替わっていただくなど工夫をしていきたいと思います。
- 「一輪車の状態がとても悪いので改善してほしい。」**というご意見がありました。一輪車は子ども達に大人気の遊具です。出来るところから修理はしていますが、間に合わない状態で、学校としても気になっております。学校予算が限られている中ですが、安全のこともありますので、改善の方向で考えていきたいと思います。
- 『保健だより』があれば、学校で流行している病気や対処の仕方が知ることができる。」**というお声をいただきましたので、検討していきたいと思います。
- 「運動会の組体操では、危険な大技はやめてほしい。小さなピラミッドであっても完成度を高めることにより達成感は得られると思う。」**とのご意見がありました。また、「組体操が素晴らしく感動し、涙があふれた。子どもたちには、心を一つにして力を合わせ、やればできるという達成感を味わうことのできる取組である。」というお声もあります。本校としては、集団演技の要素を入れながら、安全第一に取り組んできました。今後の取組については、子どもの実態をよく見ながら、文部科学省や教育委員会からの示唆も十分に踏まえて、検討を重ねていきたいと思います。
- 「明德農園や地域の方との交流は子どもも喜び、活動し、学習していた。お年寄りとの交流の他に、障がい者の方や赤ちゃんなどのふれあいがあれば、より心も育まれるかと思う」**とのお声がありました。本年度は、4 年生のめいとかく学習に「認知症サポーター学習」を取り入れました。また、目の不自由な方のお話を聞いた年度もあります。年度によって、多少取組内容は変わるかと思いますが、このようなお声を大切にして、体験学習に取り入れていきたいと思います。

その他にも、たくさんのご意見本当にありがとうございました。このような貴重なご意見を大切にしながら、明德小学校の教育を進めてまいりますので、ご理解、ご協力の程よろしく願いいたします。